

# 大日本印刷が学習支援タブレット



学習支援のイメージ

大日本印刷（DNP）はシステム開発のスカイ（大阪市）と協業し、小中学校向け学習支援システムを搭載したタブレット端末の取り扱いを始める。ICT（情報通信技術）を活用した教育の推進を目指す「GIGAスクール構想」に対応する。生徒1人にタブレット端末1台を導入する動きが加速する中、学習支援を組み込んだタブレット端末の需要を見込む。

DNPが提供する学習支援システム「リアテンドラント」は生徒の答案用紙をスキャンすると、自動で採点し採点結果を分析できる。教師の業務負担を軽減するほか、テストの分析結果を通じて、生徒一人ひとりの学力に合わせた教材「AIドリル」を提供できる。

今回、DNPの支援システムをスカイが扱う学習向けタブレット端末「Sky安心GIGAタブレット」に搭載する。小中学校にタブレット端末の導入を進める自治体向けに6月から売り出す計画だ。

政府はGIGAスクール構想のもと、タブレット端末導入のための補助金を自治体に2020年度から支給する。DNPは新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、タブレット端末を活用した校内外での学習がより広まると想定する。